【国語科における今日的課題】

思考力・判断力・表現力などを問う読解力や記述式問題、知識・技能を活用する問題に課題がある。

【学校の教育目標】 ひとりだちのできる子

「自らの意思によって行動し、自らの力で物事をやり遂げようとする心構えをもった子」

よく考える

助け合う

やりぬく

【音楽科における今日的課題】

思いや意図を持って表現したり、味わって聴いたりするときにおいて、自己を表現するための言語活動の充実に課題がある。

【児童の実態】

- ○根拠となる言葉や文章に着目できるようになり、"言葉"にこだわって読むことができるようになってきた。
- ○段落の記述に注意しながら読むことができるようになり, 論述的に思考して読む ことができる子が増えてきた。
- ●グループ活動では、言葉に着目しながら自分の思いや考えを話すことができるが、全体交流でその思いを伝える力が弱い。

【児童の実態】

- ○課題を焦点化、明確化したことで、子どもたちが思いや意図をもち、主体的に取り 組むことができるようになってきた。
- ○学習のポイントをしぼって活動をしてきたことで、技能や表現を工夫できる子が増 えてきた。
- ●話し合いの形式を指導したことで、交流をして意見を言い合うようになったが、自 分の思ったことを言葉にして伝える力が弱い。

聴き合い、学び合う授業の創造

【 国語部 】

【 願う子どもの姿 】

【音楽部】

仲間との学び合いのなかで、「分かった」「できた」喜びを実感できる子

- ・大切にしたい言葉や表現に着目し、文章を読み取ることができる子
- ・言葉に興味をもち, 語彙を増やして学んだ言葉を使って自分の考えや思いを生 き生きと表現できる子

<u>仲間との学び合いの中で,思いや意図を持ち、豊かに表現ができる子</u>

- ・曲の仕組みや学習のポイントを手がかりにして、思いや意図を持つことができる 子
- ・音楽の要素を使って、自分の思いを伝え聴き合うことでよりよい表現をめざす子

研究仮説

基礎的・基本的な知識・技能をつけるためにねらいを焦点化し、協同学習を位置づけることによって、仲間と共に主体的に学び、「分かった」「できた」喜びを実感することができる。

研究仮説

思いや意図を持ち、課題を明確にし、学習のポイントを絞り込むことによって、仲間と共に主体的に学び、自分の思いを豊かに表現できる。

研究内容 I:協同学習

- ☆主体的な学びに発展させるための協同学習の在り方
- ①ジャンプ活動の内容の工夫
- ②ジャンプ活動の仕組み方の工夫

研究内容Ⅱ:ユニバーサルデザイン

- ☆どの子も「わかる」「できる」ためのユニバーサルデザインの視点から の指導の在り方
- ①全員が達成できる内容のねらいに絞った課題の焦点化と課題解決して いくために理解を助ける視覚化の在り方
- ②誰もが課題解決に向けて、考えをもつための個への支援の在り方